

仙台国際ハーフマラソン 2023 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインと大会中止規定

【重要】大会申込前に必ずお読みください

1. 感染症対策ガイドライン

ガイドラインは、参加者や大会に携わる関係者、市民の安全を確保するために、日本陸上競技連盟のロードレース競技会ガイダンスの基準等をもとに策定します。詳細につきましては、申込開始前 12 月中旬頃に大会 HP で公表いたしますので今しばらくお待ちください。

今後の新型コロナウイルス感染状況および政府・自治体からの要請等により、緩和・追加など変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

(1) 感染症対策について

感染状況に応じた感染症対策(抗原検査キット事前郵送、体調等記録アプリによる体調チェック等)を検討・実施します。

(2) 参加にあたっての要件について

発熱症状が認められる場合は大会参加や会場への入場をお断りすることがあります。この場合、参加料の返金はありません。また、大会が求めるマスク着用、手指消毒、行動に関するお願いなどの感染防止対策に従っていただけない場合は、参加をお断りする場合があります。この場合の参加料返金はありません。

(3) 個人情報の取り扱いについて

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、行政機関より個人情報の提出を求められた場合に限り、適切な方法で個人情報を要請のあった行政機関に提出することがあります。

2. 新型コロナウイルス感染症に関わる大会中止規定

以下の場合には大会を中止いたします。

1. 大会開催日が、開催地の自治体(宮城県・仙台市)から発出されるイベント中止要請の期間に該当する場合。

2. 国内感染状況や感染拡大リスク等を踏まえ、安全な開催が困難であると実行委員会が判断した場合。

※令和 5 年 3 月末までに中止決定をした場合の参加料については、全額返金いたします。それ以降に中止を決定した場合、その時点までに生じた費用等を勘案し、返金額等を検討いたします。

※大会中止の場合は、2020 大会の優先出走権は次大会以降に引継ぎますが、一般追加募集エントリー枠の参加者には優先出走権の付与はいたしません。

3. 主な新型コロナウイルス感染症対策

従来の基本的な感染対策と合わせて、現時点では、以下の対策を実施予定です。

(1) 大会規模の縮小

- 競技をハーフマラソンに限定し、参加者数はフィジカルディスタンスを考慮し通常開催時から 20%削減する。
- 5km の部・2km の部は本大会と別日【令和 5 年 4 月 22 日(土)】に開催し、会場を従来の榴岡公園から仙台市陸上競技場に変更する。なお、新たに 2km 親子ペアの部を新設する。申し込み方法などの詳細の内容は別途発表予定。
- 沿道応援イベント等を可能な範囲で実施
- 沿道での観戦・応援は自粛を求めない
- 参加者募集は国内在住者に限定

(2) 専門医や管理体制の構築

- 感染症対策室の設置
- 専門医や保健所の指導・助言に基づく感染予防マニュアルの作成
- 医師も含めた医療従事スタッフを現場に配置

(3) フィジカルディスタンスの確保

- スタート地点の密集と、スタート時やコース走行中の混雑緩和を図るため、2 段階のウェーブスタートを実施
- メイン会場はゾーニングにより参加者・関係者以外を明確に区分けし、入場を制限
※参加者以外の家族や友人などは入場不可
- メイン会場を効率的にレイアウトし、密集防止を徹底
- 大会当日発行の記録証を、後日インターネットによる WEB 発行に変更

(4) 全関係者の体調管理

- 1 週間前から全ての参加者・関係者は「体調等記録表」による体調や体温の管理
- 参加者待機所内入口で参加者・関係者の検温実施

(5) 手指消毒、服装 等

- 大会関係者は全てマスク着用を義務付け、参加者に近接するスタッフはフェイスガードや手袋・防護服を着用
- アルコール消毒液を各所に配置、更衣室等の換気の実施

(6) その他

- 申込方法をインターネットに限定
- 参加者との距離を確保した取材エリアの設置